新産業創出に挑戦

相模原市

相模原市が2010年4月に政令市に指定されて3年。特長あるモノづくり企業が中心となり、近年は医療や健康、環境、エネルギー、ロボットといった次世代産業への挑戦が次々に始まっている。明日30日には、さがみ縦貫道路の相模原愛川インターチェンジ（IC）と海老名IC間約10キロメートルが開通。残る区間でも順次開通が予定されており、物流を担う大動脈の完成は間近。沿線には製造業や物流業の新たな拠点の集積が期待できる。大型の開発計画とあいまって、相模原地域の勢いは増している。

医療・環境・エネルギー

成長分野で連携

医療や環境、エネルギーといった、確実に成長が見込める有望分野に対する関心は相模原でも高い。モノづくり中小企業の多い相模原市では、相模原市が市内の企業と大学、研究機関によるコンソーシアムを通じて新製品や新技術の実用化を支援する「新技術実用化コンソーシアム形成支援事業」を2011年度にスタート。現在は2つのプロジェクトが進行中だ。

その一つが、さがみはら産業創造センター（SIC、相模原市緑区）が相模原市から委託を受け、市内企業を中心とした医工連携により、ペットの小型犬の整形外科用体内埋め込み器具を開発するプロジェクト。SICの「さがみはら表面技術研究所」がリーダーとなり、コバヤシ精密工業（相模原市南区）や不二WPC(同)などが加工や処理を担当。医療分野からは、日本大学獣医外科学研究室と、動物病院やペット向けサービス店を経営するJPR（同）が参画し、モノづくり企業の技術を現場のニーズに合わせるよう共同でプロジェクトを進めている。

3年計画の最終年度に当たる13年度末までに、小型犬が足などを骨折した時に補助する器具の開発を完了。磁気共鳴断層撮影装置（MRI）に入れた時の振動を抑えるため材料であるチタン合金の材質を変更し、数種類を試験する。生体適合性が高く、既存製品よりも小型化、薄型化した製品にする。14年度以降はJPRを中心にしたチームを作り、アジア各国の市場に販売し、日本の農林水産省にも認可申請する方針だ。当面はペットとして人気の高い小型犬を対象に開発するが、将来は人体に適用した製品開発を視野に入れている。

小型犬の骨折箇所を補助する埋め込み器具（イメージ）

もうひとつが、相模原商工会議所が相模原市から委託を受けた「スマートグリッド対応型レンジエクステンダー式EVの研究開発」。市販の軽トラック（ガソリン車）に鉛蓄電池とモーター、発電機を搭載したレンジエクステンダー式の電気自動車（EV）を開発する。開発する自動車は、電池に蓄えた電気でモーターを動かし、電池残量が少なくなると搭載してある発電機を動かして蓄電池に充電、走行可能距離を伸ばす方式だ。12年9月には、発電機を搭載しない、蓄電池とモーターの段階で、800キロメートル弱の試験走行に成功。今後は、蓄電池に残量計を付け、残量が一定レベルまで少なくなれば、搭載した発電機から充電できるようにする。キャロットシステムズ（相模原市緑区）をリーダーとし、市内企業の連携によって開発が進んでいる。

800m弱の試験走行に成功した（2012年9月）

プロジェクトは、都市部での自動車利用が、距離にして50キロ―60キロメートル程度、時速50キロメートル程度までと見て、近距離走行のニーズをとらえる。3年計画最終年度の13年度には、公道走行まで持ち込む方針だ。また、走行する自動車としてだけでなく、非常時には住宅用電源としても使えるよう、スマートグリッド（次世代電力網）対応型のシステムとして同時並行で開発を進める。

特長あるモノづくり拠点集積へ

さがみ縦貫道路、東名に接続

進む都市計画・産業誘致

相模原愛川IC開通に先立って行われた相模原市と愛川町のイベント（24日）であいさつする加山俊夫相模原市長

広域幹線道路網が完成

相模原市を含めた神奈川県中央部（県央部）では、道路網の充実にも大きな期待がかかる。30日には、さがみ縦貫道路（都心を囲む3環状道路のうち、最も外側を走る圏央道の神奈川県部分）の相模原愛川ICと海老名IC間の約10キロメートルが開通する。すでに海老名ICと海老名ジャンクション（JCT）間が開通しており、同JCTを経由して東名高速道路へのアクセスが可能になる。さらに13年度中には、相模原愛川ICと高尾山IC間の約14・7キロメートルが開通する。これにより東名高速道路と中央自動車道、関越自動車道が結ばれ、広域幹線道路ができあがる。

さがみ縦貫道路の開通により、相模原市の開発や産業誘致も新たな段階に入る。沿線には「川尻大島界地区」や「当麻地区」で都市計画が進んでおり、企業向けの産業用地の整備が予定されている。

首都圏に近く、都心部に比べれば土地も確保しやすいため、すでに大型の物流施設も計画されている。三菱地所とラサールル不動産投資顧問は、延べ床面積21万平方メートルの国内最大級のテナント型物流施設「ロジポート相模原」を建設中。13年8月に完成する予定だ。

「ロボット特区」弾みに

航空分野へも

さがみ縦貫道路の整備とあいまって期待されるのが、神奈川県が2月に国の指定を受けた「さがみロボット産業特区」だ。相模原市をはじめとし、平塚市や厚木市など県央部9市2町のさがみ縦貫道路の沿線を対象地域とする。リハビリテーション用の身体装着用や車いす、被災者捜索・救助、高齢者見守りなどの生活支援ロボットを、ニーズ把握から開発、実証、事業化、普及まで一貫した実現を目指す。

相模原市の期待も大きい。加山俊夫市長は、有数の内陸工業都市として発展してきた歴史を受け、制御装置やセンサーなどロボットに関する集積に強みがあると見て、ロボット特区により「民間企業や宇宙航空研究開発機構（JAXA）と連携し、新たなイノベーション、技術、新製品開発につなげていきたい」としている。相模原市は、宇宙航空産業とも縁が深い。市内にはJAXA相模原キャンパスがあり、JAXA関連施設のある6市町との友好交流「銀河連邦」は、13年で26年を迎える。JAXAの研究員を講師に呼ぶ「宇宙科学研究会」は3月末までに3回のセミナーを終了。単なるセミナーにとどまらず、関連企業とJAXAの連携を進める場となる見込みだ。

MTL　人間と機械の柔らかな調和をめざす
ロボット産業の未来に貢献します。
小型・高分解能・耐環境仕様
磁気式アブソリュートエンコーダ
MMS-10 Series
分解能 10bit(1024)
高さ 15.5mm
外径 13mm
中空φ10mm
厚さ 18mm
薄型・中空・高分解能
ロータリーエンコーダ
MEH-30T Series
高分解能 200,000P/R
『さがみロボット産業特区協議会員』
マイクロテック・ラボラトリー株式会社　http://www.mtl.co.jp　マイクロエンコーダ　検索
■本社　〒252-0318　神奈川県相模原市南区上鶴間本町8-1-46　TEL.042-746-0123(代)　FAX.042-746-0960　E-mail:sales@mtl.co.jp
ISO 9001認証 JQA-QM1935　ISO 14001認証 JQA-EM5919

デジタルコントローラ
TTM-200シリーズ「簡易プロコン機能を新規搭載」
●新PIDアルゴリズムを採用し制御性を向上
●フルマルチ入力　熱電対（13種類）・白金測温抵抗体（2種類）、電圧（5種類）、電流（1種類）の入力仕様が1機種で実現。（パラメータでの設定変更）
●サンプリング周期　200mSの高速化を実現
●コンパクトサイズ
奥行きが55mm(TTM-204)、65mm(TTM-205／207／209)のコンパクトサイズ。又、パネル面取付の突出が2mm。
TTM-204 グレー　TTM-204 ブラック　TTM-207 ブラック　TTM-205 ブラック　TTM-209 ブラック
新商品 相模開発 デジタルコントローラ「Hayabusa」近日発売
◎フィードバック制御の最速クラス(*1秒間に100回の高速サンプリング／熱電対)を可能にした次世代型のデジタルコントローラです。*当社比
ペルチェリレー TRT-2416
温度調節計からの加熱・冷却制御（SSR駆動用電圧出力）の信号に応じて、ペルチェモジュールをドライブするモジュールです。
新商品
温度センサ
各種温度素子のセンサを標準仕様だけでなく、耐薬品性に優れたセンサを始めお客様のニーズに沿った仕様の製品も製作致します。
プローブカード
半導体製造工程での検査治具として欠かせない製品です。
製品仕様はお客様のニーズに沿った多ピン・狭ピッチへの対応は勿論の事、短納期での生産にも対応致します。
各種温度コントローラ・温度センサの御用命も承ります。
TOHO 東邦電子株式会社
本社／〒252-0245 神奈川県相模原市中央区田名塩田 1-13-21
TEL 042-777-3311(代) FAX 042-777-3751
URL：http://www.toho-inc.com E-mail：info@toho-inc.co.jp
本社営業部 ☎042-777-3314　大阪営業所 ☎06-6353-9205
東京営業所 ☎03-3363-1331　熊本営業所 ☎096-214-6507

産業界の活力で新相模原を創出
会員とともに行動、変革、そして未来へ
相模原商工会議所
URL　http://www.ssp21.or.jp
会頭 河本 洋次　副会頭 阿部 邦雄
副会頭 小俣 邦正　副会頭 原 清助
副会頭 石塚 良昭　専務理事 座間 進
〒252-0239 相模原市中央区中央3-12-3　TEL042-753-1315(代表)　FAX042-753-7637

公益財団法人
相模原市産業振興財団
Sagamihara Industrial Promotion Foundation
理事長 河本 洋次
〒252-0239 相模原市中央区中央3-12-3 相模原商工会館本館4階
TEL：042-759-5600　FAX：042-759-5655
http://www.ssz.or.jp/

METAL SURFACE TREATMENT wpc
DLCとWPC
低摩擦・高硬度な複合処理
新たな表面をクリエイト!
株式会社 不二WPC　http://www.fujiwpc.co.jp/　http://www.facebook.com/fujiwpc
〒252-0331 神奈川県相模原市南区大野台4丁目1番83号　TEL:042-707-0776/FAX:042-707-0779

▼経営サポート　▼人材育成　▼連携　▼ラボ・オフィス
詳細はWEBで！　さがみはら SIC　検索
入居者を募集しています！
元気な起業家・中小企業を応援しています！
スモールオフィス 17.3㎡ / 23.6㎡
セミラボ 31.5㎡
デスク(シェアする仕事場) 4/7.3㎡
株式会社さがみはら産業創造センター（SIC）
〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本 5-4-21
TEL.:042-770-9119 FAX:042-770-9077

神奈川産業人クラブ
入会のご案内
「神奈川産業人クラブ」は、神奈川県下の企業経営者・産業人が集い、互いに情報を交換するとともに、最も重要な経営者としての資質の向上を図り、地域産業の振興を目指すものです。
当クラブでは、さらに会員の輪を広げ事業活動の活発化をはかるため、明日の経営に挑戦する清新な会員を広く募集しています。
活動状況
●講演会の開催　●経営研究会の開催
●工場見学会の開催　●国際交流の実施
●産学官交流の促進　●ゴルフ大会の開催
●その他
入会のお申し込み、お問い合わせは
神奈川産業人クラブ
日刊工業新聞社　横浜総局内
〒231-0006　神奈川県横浜市中区南仲通4-39-2
箕田関内ビル7階
TEL.045-201-7421　FAX.045-201-7424

「光と電波」
情報通信・デジタル家電を支える昭和真空
http://www.showashinku.co.jp
「真空」をベースにした独創のノウハウで、
現代の多彩な先端技術産業に貢献
株式会社 昭和真空
事業所
本社・相模原工場　〒252-0244 神奈川県相模原市中央区田名3062番10号
TEL.042-764-0321　FAX.042-764-0329
大野台パーツセンター　〒252-0331 神奈川県相模原市南区大野台二丁目27番2号